



HP



Instagram

佐賀県立唐津青翔高等学校 佐賀県東松浦郡玄海町大字新田1809番地11

町づくりワークショップ

12月8日（日）に玄海町町民会館で町づくりワークショップが行われました。「町の10年後を考える」という大きなテーマの中に「環境」「しごと・産業」「教育」「安全」「健康」「快適」「協働」などの小さなテーマを設定し、地域企業の方や町役場の方、高校生などがそれぞれの考えを共有しました。本校からも5名の生徒がこの町づくりワークショップに参加し、様々な意見の交換を行いました。町の良いところや課題、問題点などを付箋に書きまとめていくブレインストーミングの形式でワークショップは行われ多くの意見が出されました。参加した生徒からは「ワークショップに参加して地域の人や町役場の人の色々な意見が聞けてよかった。」「普段話す機会がない大人の人と話すことができて良い経験になった。」「自分の意見を言うのは緊張したけど頑張って話すことができた。」などの感想が寄せられました。生徒は学校では体験できない貴重な経験をすることができました。関係の皆様、ありがとうございました。



みんなの科学広場in唐津

12月8日（日）に唐津市文化体育館でみんなの科学広場in唐津が開催されました。このイベントは子どもたちに科学技術の楽しさやおもしろさ、発見の喜びや感動を体験してもらうことを目的に実施されており、本校からも環境部の生徒が参加しました。本校の展示では小学生以下の子どもを対象とした顕微鏡による「ケイ藻類」の観察を行いました。初めに、生徒からケイ藻類についての説明が行われ、その後、顕微鏡で低倍率から高倍率に変えながら観察を行いました。ケイ藻類を観察することで小学生が海の生態系や環境について考えるきっかけになることを目的としてこの展示を行いました。参加した生徒からは「お客様に説明が伝わって楽しんでくれてよかった。」「緊張してうまく説明できなかった。」「失敗もあったけど切り替えて頑張ることができた。」などの感想が寄せられました。今回のイベントに参加したことで、生徒自身の成長にも繋がりました。



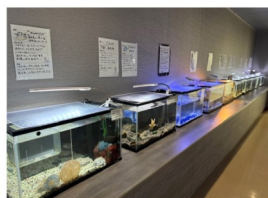
系列校外研修

12月10日（火）に校外研修が実施されました。今回の研修は地域、企業、大学等と協働した実践的教育の確立や地域を担う人材の育成を目的に行われ、各系列ごとにさまざまな場所で研修を行いました。美術・デザイン系列は有田ポーセリンパークや海きらら、唐津近代図書館に行きました。唐津近代図書館や有田ポーセリンパークでは実際の美術作品等に触れることで美術的な感性を高め、海きららでは効果的な展示の方法などを実際に見て学ぶことができました。参加した生徒からは「作品を作りたいという気持ちになった。」「展示されている作品の凄さを感じた。」「展示方法の一つにもこだわりがあると思った。」などの感想がよせられました。また、韓国文化系列は泉山磁石場やアリタセラに、環境系列は道の駅鹿島に、情報ビジネス系列は中村学園大学に、生活福祉系列は西九州大学短期部に行き、それぞれ系列とつながりの深い学びを得ることができました。今後も地域等と協働した学びや、地域を担う人材の育成を目的にした活動を積極的に行っていきます。

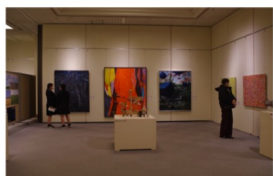
韓国文化



環境



生活福祉



美術・デザイン



情報ビジネス



ロードレース大会

12月13日（金）に本校でロードレース大会が行われました。今年はグラウンドから学校の外へ行き、町営駐車場や玄海みらい学園の周りを男子は2周、女子は1周して学校に戻ってくるというコースで、男子は約3キロ、女子は約2キロを寒さに負けず最後まで一生懸命走り抜きました。この大会に向けて体育の授業で練習が行われており、本番当日は全員がそれぞれのペースでゴールを目指して力強く走る姿が印象的でした。途中で苦しそうな表情を見せる生徒もいましたが、友だち同士で励ましあいながら最後まで諦めずに走りきることができました。学年問わずタイムを競い、男子個人と女子個人はそれぞれ2年生の生徒が昨年と同様に優勝し連覇を果たしました。クラス対抗では1年1組が優勝、準優勝は2年1組、第3位は2年2組と、上級生を上回る活躍を見せてくれました。上位の成績を残した生徒だけでなく、最後まで諦めず走り切った生徒の姿は多くの生徒に良い影響を与えてくれたと感じています。生徒からも「きつかったけど頑張って完走できてよかった。」「あと少しで表彰されていたから悔しかった。」「来年も優勝して3連覇をめず。」「など様々な感想が寄せられました。今回のマラソン大会を通して、生徒たちは体力の向上だけでなく、目標に向かって努力することや友だちと支えあうことの大切さを学ぶことができました。

